



Hiroshima Research Center for Healthy Aging (HiHA)

主催: 広島大学健康長寿研究拠点

HIROSHIMA UNIVERSITY

「受精卵の非対称パターン化を脱構築と再構築で理解する」

茂木文夫

北海道大学 遺伝子病制御研究所

Temasek Lifesciences Laboratory

Mechanobiology Institute

National University of Singapore

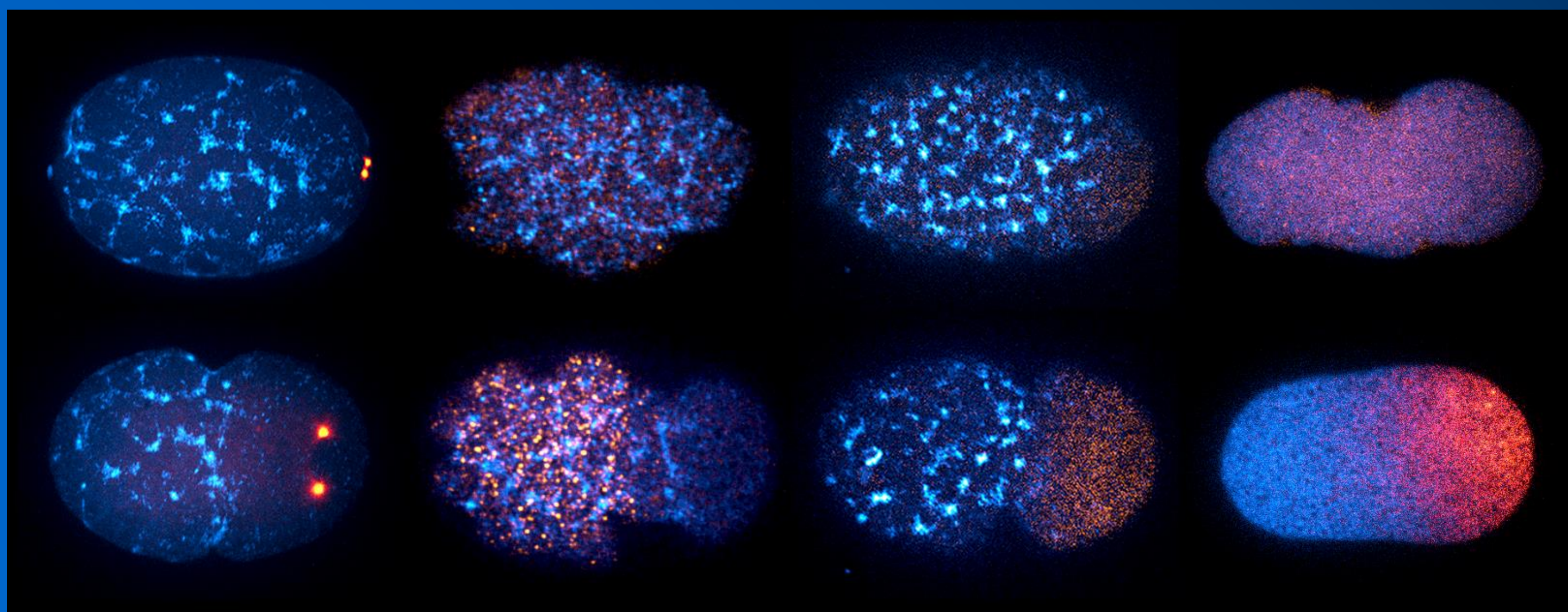
世話人: 登田 隆 特任教授

大学院統合生命科学研究科

生物工学ユニット

《概要》

多細胞生物が分化・機能の多様性を得るには、個々の細胞が空間的な非対称性パターン「細胞極性」を獲得する必要がある。細胞極性の欠損は、神経変性・癌化などを引き起こすことから、細胞極性の理解は様々な疾患の予防・治療に必須と考えられる。本セミナーでは、線虫 *C. elegans* をモデル生物として、受精卵が非対称性を獲得する分子メカニズムの理解(非対称パターン化の脱構築)と、受精卵の非対称パターンを人為的に再構成するシステム(非対称パターン化の再構築)について紹介する。受精卵で明らかになった「非対称パターン化」の基本原則が、多細胞ステージにおいて再活用される仕組みについても議論したい。



開催日時: 令和3年 4月 21日(水) 16:00-17:00

Zoomによるwebセミナー

ミーティングID: 981 8879 4146

入室パスワード: 519929

お問い合わせ先 広島大学 大学院統合生命科学研究科
HiHA 事務局 (healthy-aging@hiroshima-u.ac.jp)

*本セミナーは、統合生命科学研究科セミナーとして、プログラム共同セミナーの対象です。